

第24回 日本体力医学会学会賞の受賞論文

日本人成人男女を対象としたサルコペニア簡易評価法の開発

真田 樹 義^{1,2)} 宮 地 元 彦³⁾ 山 元 健 太³⁾ 村 上 晴 香³⁾
 谷 本 道 哉³⁾ 大 森 由 実³⁾ 河 野 寛⁴⁾
 丸 藤 祐 子⁴⁾ 塙 智 史³⁾ 家 光 素 行¹⁾
 田 畑 泉^{1,3)} 樋 口 満⁴⁾ 奥 村 重 年⁵⁾

¹⁾立命館大学スポーツ健康科学部, ²⁾早稲田大学先端科学健康医療融合研究機構,
³⁾独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進プログラム, ⁴⁾早稲田大学スポーツ科学学術院,
⁵⁾ロート製薬株式会社事業開発本部開発企画部

第24回 日本体力医学会学会賞の選考について

学会賞選考委員長 定本 朋子

日本体力医学会の学会誌「体力科学」第59巻1号～5号（平成22年発行）に掲載された原著論文38編を対象に、最優秀論文に相当する学会賞の選考を行いました。

上記論文：体力科学（2010）59, 291～302 は、①今日的で喫緊の課題であるサルコペニアについて取り扱っていること、②日本人を対象とした広範なデータから評価法を開発し、その妥当性も検証していること、③研究成果が実践場面において広く活用できること、等の研究意義および成果の展開性について選考委員会では高い評価を得ました。

山口県下関市海峡メッセにて開催された第66回日本体力医学会大会において、学会賞授与式並びに真田樹義氏（筆頭著者）による受賞講演が行われました。講演を通して、サルコペニアの適切な評価が今後の日本人の体力・健康の維持増進に重要な役割を果たすことをあらためて強く認識することができました。同時に、この分野における研究展開が体力医学会の学術を推進させる力になることを確信することができました。

平成23年9月

日本体力医学会
 会 員 各 位

東日本大震災で被災された会員の皆様へ一年会費免除について

このたびの震災により、被害を受けられた会員の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

さて、本会では、本年3月11日に発生した東日本大震災による影響を鑑み、被災された会員の皆様に対して、2012年度会費免除の特別措置を実施することが決議されましたので、ご案内申し上げます。

記

■会費免除の対象となる地域及び学会員

2011年9月17日（評議員会・総会開催日）現在、岩手、宮城、福島の3県を発送先として指定されている学会員

※上記以外の場合でも、被災証明書が発行されていれば会費免除の対象と致しますので、「被災証明書（写しでも可）」及び「会費免除申請書（様式自由：会員番号、氏名、連絡先をお書き下さい）」を下記：事務局までご提出下さい。

■会費免除期間

2012年度分（2011年9月1日～2012年8月31日）

■備考

- ・過年度未納分の会費は対象になりません。
- ・2012年度新入会員は対象外です。

■問い合わせ先

日本体力医学会事務局
 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13-4階
 TEL 03-5981-6015 FAX 03-5981-6012

日本体力医学会定例理事会（平成23年7月）議事録

日 時：2011年7月15日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：八重洲倶楽部第2会議室

議 長：吉岡利忠理事長

出席者：吉岡利忠，今泉和彦，碓井外幸，小野寺昇，
栗原 敏，佐藤祐造，下光輝一，鈴木政登，
田中喜代次，田中宏暁，永富良一，浜岡隆文，
福永哲夫（各理事），小林康孝（監事），
江橋 博（第66回大会長・山口），
古田善伯（第67回大会長・岐阜）

欠席者：荒尾 孝，大野 誠，加賀谷淳子，勝村俊仁，
川原 貴，小林寛道，坂本静男，下村吉治，
西平賀昭，西牟田守，森谷敏夫（各理事），
能勢 博（監事），種田行男（将来構想検討委員会委員）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認とすることとした。また、議事録署名人として鈴木、田中（喜）両理事が指名された。

2. 平成23年度決算見込みについて（下光財務委員長）

資料に基づき、平成23年度決算見込みについて報告がなされ、正式な決算は9月の理事会で報告予定である旨が説明された。

3. 平成24年度予算案について（下光財務委員長）

資料に基づき、平成24年度予算案が提示され、下記の勘定科目等について説明が行われた。

- ・会費収入（正会員会費）…前回理事会で免除が決定された「東日本大震災の被災地（岩手県、宮城県、福島県）を発送先として指定されている学会員（約150名）の次年度（2012年度）年会費」について、予定収入金額から差し引いて計上を行った旨が説明された。
- ・名簿作成積立金取崩収入及び選挙積立金取崩収入…平成24年度は名簿作成及び役員選挙を行う年であるため、それぞれ積立金の取崩を行った旨が説明された。
- ・称号事務費…これまで管理費として計上されていた「称号事務費」について、碓井学術委員長からの要望により、平成24年度より、事業費（学術活動費／「称号運営費」）として計上を行った旨が説明された。
また、関東地方会と近畿地方会を除く各地方会（北

海道・東北・北陸・東海・中国四国）の補助金を支給1回につき5万円ずつ増額することが提案され、審議の結果、承認された。

さらに具体的な金額について検討を行ったうえで、最終的な予算案は再度次回理事会へ提出することとなった。

4. 第68回（東京）大会について（小野寺総務委員長）

前回理事会の決定に基づき、第68回大会長への就任について、栗原理事と協議を行った結果、承諾を頂いた旨の報告がなされ、理事会として承認された。引き続き栗原理事より挨拶が行われた。

会 期：2013年9月21日（土）～23日（月/祝日）

大会長：栗原理事

副会長：勝村理事・下光理事・鈴木理事

大会実行委員長／事務局長（兼任）：竹森重（東京慈恵会医科大学 教授）

5. 学会賞について（吉岡理事長）

学会賞選考委員会からの提出資料に基づき、審査経過ならびに審査結果が報告された。6月24日に開催された委員会において、下記1編の論文を学会賞に選考したことが報告され、承認された。

◎「日本人成人男女を対象としたサルコペニア簡易評価法の開発」(59巻3号)

真田樹義・宮地元彦・山元健太・村上晴香・谷本道哉・大森由実・河野寛・丸藤祐子・埜智史・家光素行・田畑泉・樋口満・奥村重年

6. 健康科学アドバイザー継続申請者について（碓井称号委員長）

称号委員会からの提出資料に基づき、アドバイザー継続申請者13名（継続対象者は30名）の申請書類一式を確認・審査し、委員会として了解したことが報告され、継続が承認された。

7. 役員選挙について（小野寺総務委員長）

来年度は役員選挙（3年に1度）を行う年であるため、選挙管理委員長を決定する必要がある旨の説明がなされ、選挙管理委員長の人選について検討を行った結果、中原凱文先生（和洋女子大学 教授）に委員長をお願いすることが提案され、審議の結果、決定された。

8. 名誉会員推薦について (小野寺総務委員長)

小野寺総務委員長より、前回理事会の決定に基づき、総務委員会で内規に基づき名誉会員候補者を選考し、候補者の意向を伺った上で、9月理事会及び9月の評議員会・総会に諮る予定である旨の報告がなされた。

9. 理事会協賛シンポジウムについて (吉岡理事長)

資料に基づき、第66回大会(山口)で開催が予定されている倫理問題をテーマとしたシンポジウムのテーマ、内容等について説明がなされた。

・テーマ：「健康・スポーツ科学および教育分野における人対象の調査・研究倫理」

・日時：2011年9月16日(金) 13:20~15:10

また、前回理事会で承認が行われた「本学会会員以外のシンポジストへの交通費・宿泊費・講演謝金の支給」について、支給額等の確認がなされた。

10. その他

・健康科学アドバイザー称号既得者の「スポーツ医学研修会参加費」及び「同称号更新にかかる再研修基準単位」の改定について (碓井学術委員長)

前回理事会開催後(6月6日)に、電子メールを用いた臨時理事会で審議が行われた『健康科学アドバイザー称号既得者がスポーツ医学研修会を再受講する場合の「参加費及び健康科学アドバイザー称号更新にかかる再研修基準単位」の改定(2011年度限定処置)』の件について、審議の結果、承認が行われた旨の報告がなされた。

※『健康科学アドバイザー称号既得者がスポーツ医学研修会を再受講する場合の「参加費及び健康科学アドバイザー称号更新にかかる再研修基準単位」の改定(2011年度限定処置)』について

1. 受講料を2万円とする(現行のスポーツ医学研修会受講料：一般5万円、学生3万円)
2. 現行、午前・午後合わせて4日間、修了試験(2時間)で開催されている研修会のうち、2日間以上受講した場合に、称号更新にかかる再研修基準単位を10単位付与する。
3. 職場の都合で1日しか受講できない場合には、4日間のうち1日受講し、修了試験に合格した場合、称号更新にかかる再研修基準単位を10単位付与する。

また、2012年度以降についても、上記：3点に下記：2点を加えた内容に基づき、スポーツ医学研修

会及び健康科学アドバイザーの運営を行うことが提案され、審議の結果、承認された。

4. 再受講申込の有効期間は2年間とする(再受講申込から2年以内に、上記の2または3の内容を満たした場合は称号更新にかかる再研修基準単位を10単位付与する)。
5. 研修会申込者が40名を超える場合には、新規申込者を優先して扱うこととする。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会 (小野寺委員長)

- ・法人化について、現在、定款(原案)の作成を進めており、本任期中に新定款(原案)の提出を行い、審議を頂く予定である旨の報告がなされた。
- ・「利益相反小委員会」において、利益相反に関する規約の作成等を進めており、次回理事会に提出し、審議を頂く予定である旨の報告がなされた。

2) 編集委員会 (鈴木委員長)

- ・6月25日より、オンライン投稿システム(J-STAGE)がJ-STAGE2からJ-STAGE3に変更され、支障なく運営が行われている旨の報告がなされた。
- ・「体力科学」誌の投稿状況等について報告がなされた。
- ・運動処方指針(原書第8版・南江堂)について、7月25日に出版された旨の報告がなされた。
- ・今泉理事より、資料に基づき、英文誌(The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine(略称：J.Phys.Fitness Sports Med,JPFSM))の刊行計画(案)、投稿規程(案)等の説明が行われ、審議の結果、英文誌の刊行が決定された。

また、上記の決定を受けて、編集長、委員会構成、関連予算等について具体的な検討を行い、改めて9月理事会及び評議員会・総会に諮ることが決定された。

3) 渉外委員会 (永富委員)

I) ECSS (ヨーロッパスポーツ科学会)

- ・第16回ECSS(2011年7月6日~9日：イギリス・リバプールで開催)で行われた「ECSS-日本体力医学会合同シンポジウム」において3名のシンポジストが発表を行った旨が報告された。
- また、後日、報告書を提出して頂き、「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。

II) ACSM(米国スポーツ医学会)

- ・第58回ACSM大会(2011年5月31日~6月4日：

米国・デンバーで開催)参加助成制度について、助成対象者として決定された若手研究者1名、大学院生2名から参加報告書の提出があった旨及び同報告書について「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。

4) 学術委員会

I) スポーツ医学研修会(鈴木委員長)

研修会で使用するテキスト(改定版)の作成が完了した旨の報告がなされた。また、7月1日・2日に開催した基礎コースの概要、受講者数について報告がなされた。応用コースは8月5日・6日に、修了試験は8月7日に行う予定である。

II) 称号委員会(碓井委員長)

「スポーツ医学研修会修了試験の過去問題集」の作成が完了した旨の報告がなされた。また、次年度以降も継続して作成を行っていく予定である旨の報告がなされた。

5) 評議員選考委員会(今泉委員長)

評議員の推薦について、8月1日を締切りとし、それ以降に審査を行った上で、第66回大会(山口)において結果報告を行う予定であることが報告された。

2. 第66回大会(山口)の準備状況(江橋第66回大会長)

資料に基づき、大会スケジュール関係の進捗状況が報告され、登録演題数・一般演題座長依頼数・プログラム構成及び各種委員会・理事会等について説明がなされた。また、東日本大震災の影響を鑑み、被災地からの参加者は参加費を無料にした旨の報告がなされた。

会期：2011年9月16日(金)～18日(日)

会場：海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ

3. 第67回大会(岐阜)の準備状況(古田第67回大会長)

大会の準備状況等について報告がなされた。

会期：2012年9月14日(金)～16日(日)

会場：長良川国際会議場及び都ホテル(岐阜)

4. その他

- ・大塚スポーツ医・科学賞の件(小野寺総務委員長)
配布資料により、「奨励賞」及び「特別賞」の受賞に関して報告が行われ、第66回日本体力医学会大会(山口)において授賞式等が行われる予定であることが説明された。
- ・永富理事より、東日本大震災からの宮城県の復興状況等について報告が行われた。

日本体力医学会編集委員会議事録

日 時：平成23年9月15日(木) 16:30～18:00

場 所：海峡メッセ下関 805会議室

出席者：鈴木政登、今泉和彦、勝川史憲、勝村俊仁、川原 貴、後藤勝正、小宮秀明、竹森 重、田中宏暁、永富良一、西平賀昭、西牟田守、藤井宣晴、藤本繁夫、藤谷博人、水野眞佐夫、山内秀樹、和気秀文、下村吉治、中島幸則(編集事務局、白幡裕子、本間佳子)

欠席者：猪飼哲夫、大野 誠、坂本静男、能勢 博、淵本隆文、小宮山伴与志

【報告および審議事項】

編集委員会開催に先立ち、鈴木委員長より平成23年9月1日臨時編集委員会(東京・八重洲倶楽部会議室)で開催された議事録の確認がなされ了承された。鈴木委員長より以下の報告があり、種々検討された結果、了承された。

1. 「ACSM 運動処方指針第8版」(南江堂)編集作

業終了の報告

上記翻訳書が平成23年7月25日付けで発刊済みである旨の報告があった。

2. J-STAGE3投稿審査システム運用状況の報告

平成23年6月25日よりJ-STAGE3が運用開始され、現在順調に実施されている旨の報告があった。

3. 体力科学オンライン投稿・査読の結果報告

今年度の投稿状況については、101編の投稿があり、そのうち却下率が38.6%と高いとの報告があった。その理由として、論文のレベルの問題や体裁が投稿規定に添っていない論文が多い旨の説明がなされた。今年度の掲載論文は昨年より6編増加した旨報告された。

エディターが査読者を推薦し、そのうち辞退の件数を知りたいとの要望があった。その結果、査読者202名のうち査読辞退者は74名であった。

尚、分野によっては査読者の登録数が少ない分野もあることから、今後は会員に尚一層PRして登録者数を増やす様鋭意尽力することで了承された。

4. 英文誌刊行に伴う編集委員の増員の提案

英文誌化小委員会のメンバーである小宮山伴与志委員と下村吉治委員に新たに編集委員に加わっていただきたい旨の報告があり、了承された。この結果を理事会に報告することで了承された。

つぎに、編集事務局の白幡より、英文誌の発行に伴い「体力科学」誌の内容を若干変更したい旨の説明があった。

1. 国際A4版からA4版サイズに変更し、文字数を増やし、行間をつめて紙の無駄をなくし、頁を減らし、経費削減に努める。
2. 体力科学投稿規定（案）の中の引用文献の見本が古いため、新しい見本に変更した。
3. 英文誌と和文誌の投稿規定は、決定次第「体力科学」第5号や本学会HPに掲載する。
4. 英文誌の投稿システムについては、J-STAGE3がすぐに使えないため、今後1年程度はメールでの投稿受付になることが詳細に説明された。査読者には投稿された添付ファイルをそのまま転送されることが了承された。
5. 受理済み論文の英文チェックは、帯広畜産大学准教授のマーシャル・スミス博士に内諾済みであることが報告された。
6. 平成23年10月1日より、英文誌も和文誌も査読の謝礼は廃止することで了承された。

鈴木委員長より平成23年9月1日開催された臨時編集委員会会議についてその報告がなされた。

1. 7月15日(金)の理事会において平成24年度より英文誌の刊行が了承された旨の報告があった。さらに、それを受け、9月15日(木)開催の編集委員会および理事会において英文誌を刊行するにあたって不可欠となる内容を事前に決める必要があるため、吉岡利忠理事長および関東地方に在住される編集委員会の先生方に臨時にお集まりいただいた旨の経緯とその趣旨が説明された。
2. 平成24年度は重点的にReviewsまたはShort Reviewsを多く掲載し、堅実な刊行を目指すと共に、より質の高い英文誌とするため、英文誌編集委員会が中心となって執筆者を選定し、迅速に執筆を依頼することで了承された。
3. 論文の種類のカテゴリーの一つであるProceedings（現在の和文誌第6号の大会号）については、英文の抄録を掲載するよう時間を掛けて準備しておく。5年後を目途とする。

つぎに、今泉副委員長より英文誌の刊行計画と投稿規定の説明がなされた。英文誌刊行に伴って和文誌の変更の内容も説明があり、了承された。

以上

日本体力医学会編集委員会臨時会議議事録 －英文誌刊行に向けて－

日 時：平成23年9月1日(木) 15:00～16:50

場 所：東京八重洲倶楽部 第2会議室

出席者：吉岡利忠、鈴木政登、今泉和彦、勝川史憲、
勝村俊仁、坂本静男、竹森 重、中島幸則、
藤井宣晴、小宮山伴与志（オブザーバー）
（編集事務局、白幡裕子、本間佳子）

【報告および審議事項】

鈴木委員長より7月15日(金)の理事会において平成24年度より英文誌の刊行が了承された旨の報告があった。さらに、それを受け、9月15日(木)開催の編集委員会および理事会において英文誌を刊行するにあたって不可欠となる内容を決める必要があるため、吉岡利忠理事長および関東地方に在住される編集委員会の先生方に臨時にお集まりいただいた旨の経緯とその趣旨が説明され

た。次に今泉副委員長の司会で会議が進行された。

1. 平成24年度より英文誌と和文誌を刊行するにあたり、経費削減とより効率的な刊行を目指すため、編集事務局の白幡より和文誌刊行の出版方針についての説明があった。
2. 和文誌（体力科学）のサイズを国際A4判からA4判に変更し、文字数を増やして経費の削減を図る。文字の大きさは10ポイントから9.5ポイントに変更し、行間をやや詰める。
3. 表紙のデザインを一部変更する。現使用のデザインを変更することは著作権侵害に当たらない事を確認した（9月2日承諾済み）。
4. 和文誌の内容変更に伴い大会号（6号）と地方会の抄録の掲載の方法を変更する。これまでは文字数を

制限していても、文字数のオーバーが見られたことから、印刷プロセスに相当手間取っていた。今後はこのようなことをすべて解消するための基準を明確にした。来年度より、和文誌に掲載される大会号と地方会は流れ組とすることが確認された。

5. 以上の内容に変更すると、年間頁数が現行より250～300頁が削減される見通しが得られるとの説明があった（約25-30%削減可能）。
6. 英文誌の刊行にあたり必然的に和文誌の刊行内容が変更されることの内容が簡潔に説明された。また、編集事務局から和文誌の投稿規定が変更されることも報告された。

つぎに今泉副委員長より、英文誌の刊行計画と投稿規定の説明がなされた。

1. 英文誌はThe Journal of Physical Fitness and Sports Medicineの名称で承認された。
2. 英文誌の略称はJPFISMの名称で承認された。
3. 投稿規定は和文および英文ともに9月下旬までに完成する。
4. 平成24年度は重点的にReviewsまたはShort Reviewsを多く掲載し、堅実な刊行を目指すと共により質の高い英文誌とするため、英文誌編集委員会が中心となって執筆者を選定し、迅速に執筆を依頼する。
5. 論文の種類のカテゴリーの一つであるProceedings（現在の和文誌第6号の大会号）については、英文の抄録を掲載するよう時間を掛けて準備しておく。
6. 平成24年度からの2年間は概略下記のように出版する計画である旨の説明があった。
英文誌発行の予算は600万円であることが7月15日（金）の理事会で承認された旨の説明があった。
Volume 1 No.1（5月刊行）：Review（～5編）+原著論文
Volume 1 No.2（7月刊行）：Review（～5編）+原著論文
Volume 1 No.3（9月刊行）：Review（～5編）+原著論文
Volume 1 No.4（11月刊行）：Review（～5編）+原著論文
7. 英文誌と和文誌を同時に出版する事は費用が嵩むことから、内容はすべてコンパクトにして極力無駄を省いて印刷する旨の報告が白幡よりあった。具体的には英文誌のサイズをA4判とし、文字数、行数、文字を小さくすることにより、現行より大幅な削減頁数の実現が可能となる見通しである旨の説明が白幡よりあった。
8. 紙媒体の発行部数は電子・オンラインジャーナルも併用するため、極力少なくなる見通しが得られると

の説明があった。

9. 英文誌と和文誌は全国の大学等の図書館等に納入することもあり、今後の必要最低印刷部数の見通しを吉岡利忠理事長および編集委員会等に逐次報告する旨の依頼があった。
10. 現編集委員会メンバーの中で英文誌編集委員のみ、和文誌編集委員のみ、または両方兼ねるかアンケートを至急とることが決まった。近日中に鈴木委員長がアンケートを作成し、9月8日までに纏めるとのことです承された。
11. 編集委員のメンバーであった小宮山伴与志委員および下村吉治委員についても英文誌編集委員として今後参加して欲しい旨の依頼がなされた結果、了承が得られた。小宮山委員についてはオブザーバーとして参加されていたことから、会議の席上で直接お願いをした結果、快諾を得た。
尚、しばらくの間は日本人のみの編集委員で進めて行くこととするが、英文誌の刊行が軌道に乗った段階で外国からの編集委員会のメンバーとして加わっていただく旨の提案がなされ、了承された。
今後は年2回合同で編集委員会を開きたい旨の提案があり、了承された。
◆現在の編集委員長……鈴木政登：和文誌編集委員長 担当
◆現在の副編集委員長……今泉和彦：英文誌編集委員長 担当。
12. 英文誌と和文誌の投稿規定は、決定次第『体力科学』第5号や本学会HPに掲載することです承された。
13. 英文誌の投稿システムについては、J-STAGE3がすぐに使えないため、今後1年程度はメールでの投稿受付になることが詳細に説明された。査読者には投稿された添付ファイルをそのまま転送されることが了承された。
14. 平成24年度より日本からの投稿で英文誌に掲載された論文は、和文誌には原則として和文の抄録を載せ、外国からの掲載論文は原則として英文の抄録のみを掲載・紹介することとした。
15. 英文誌の表紙のデザインの案を一部修正することが了承された。
16. 平成24年度より（9月15日理事会承認後）、英文誌も和文誌も査読の謝礼は廃止することとし、その費用は査読に関わる費用（例えば受理済み論文の英文チェック代など）に充てることです承された。

以上

「体力科学」誌の変更

1. A4版サイズに変更し、行数を25字×48行 2段組 (2,400字).
2. 大会号は2012年度から (25字×36行=900字) 流れ組とする.
◇文字数には、演題名・氏名・所属・抄録を含める.
3. 地方大会の抄録は一般演題・特別講演など関係なく、すべて氏名・所属を含めて900字以内とし、英文表記を無くし、和文抄録のみとする。抄録の掲載は途中のスペースを省いて続ける.
4. 現状の英文論文の受け付けは9月末日で終了し、その後すべてJPFISM誌に投稿するよう依頼する.
5. JPFISM誌に掲載された論文は原則的としてAbstractの和文を「体力科学」誌に掲載する.
6. 和文誌の投稿規定の中に項目分けが削除になっている.
◇大項目より小項目の記号 (I., II., A., B., 1., 2., ……) がなくなる.
7. 広告の枠については大きさを定める.
広告枠は四方10ミリの余白が必要となる.

論文

現状 23字×43行 = 989字 (2段組) 1,978字
変更 (和) 25字×48行 = 1,200字 (2段組) 2,400字
(英) 56行 (2段組)

大会号

現状 26字×53行 = 1,378字 (2段組) 1抄録1段組
変更 25字×36行 = 900字 (2段組)

◇演題名・氏名・所属・抄録を含めて1抄録900字以内とし、流れ組とする.

地方会

現状 25字×48行 = 1,200字 (2段組) 基本、1抄録1段組ですが、文字数によっては2段掲載もあり
変更 25字×36行 = 900字 (2段組)

◇演題名・氏名・所属・抄録を含めて1抄録900字以内とし、流れ組とする。(和文のみ)

体力科学の投稿規定 新・旧の違い

Ⅲ. 原稿の種類

- (旧) 原著, 短報, 総説, 教育講座, 抄録, その他 (Letter to the Editor, 議事録, 資料, 学会記事, 会報など) とし, 原著, 総説および教育講座は和文でも英文でも可とします. ただし, 短報は英文とします.
- (新) 総説, 原著, ノート, 資料, 教育講座, 抄録, その他 (Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など) とし, 原則として和文のみとする.

Ⅳ. 原稿一般規定

B. 学会ホームページ内にあるオンライン投稿ページより投稿論文表紙をダウンロードし, 原稿の種類, 論文の分類, 表題 (和・英), 著者名等の必要事項を記入し投稿時にシステムよりアップロードする.

→削除 (現在使用していない。J3ではシステム上で管理している為削除した) ホームページでは削除済み。

H. 項目分け: 大項目より小項目への順序は次のとおりとします.

I., II., ……, A., B., ……, 1., 2., ……, (1), (2), ……

→削除 (項目の記号の表示がなくなる)

Ⅴ. 原稿種類別規定

(旧) A. 原著, 投稿総説, 資料

1. 論文は独創性に富み, 本誌, 他学会誌および他学術誌に未投稿の研究論文とします. 本文ファイルには著者, 所属, 謝辞などの投稿者がわかる文言を表記しないで下さい.

(新) A. 原著, 投稿総説, ノート, 資料

1. 論文は独創性に富み, 未投稿の研究論文とする. 1頁目には, 表題, 著者名, 共著者名, 所属機関名, 所在地の各 (和・英) と, 別刷希望部数を明記する.

2011年9月15日(木)
(理事会承認済み)

日本体力医学会編集委員の構成

編集委員長：鈴木 政登

1. 日本体力医学会新編集委員会のメンバー

欧文誌化小委員会と統合して新たに編集委員会を構成した。その任期は2012年3月31日とする。

◆編集委員会

委員長：鈴木 政登

副委員長：今泉 和彦

委員：猪飼 哲夫, 大野 誠, 勝川 史憲, 勝村 俊仁, 川原 貴, 後藤 勝正,
小宮 秀明, 小宮山伴与志, 坂本 静男, 下村 吉治, 竹森 重, 田中 宏暁,
中島 幸則, 永富 良一, 西平 賀昭, 西牟田 守, 能勢 博, 藤井 宣晴,
藤本 繁夫, 藤谷 博人, 淵本 隆文, 水野 眞佐夫, 山内 秀樹, 和気 秀文

◆和文誌『体力科学』編集委員会

委員長：鈴木 政登

副委員長：今泉 和彦

委員：猪飼 哲夫, 大野 誠, 勝川 史憲, 勝村 俊仁, 川原 貴, 後藤 勝正,
小宮 秀明, 小宮山伴与志, 坂本 静男, 下村 吉治, 竹森 重, 田中 宏暁,
中島 幸則, 永富 良一, 西平 賀昭, 西牟田 守, 能勢 博, 藤井 宣晴,
藤本 繁夫, 藤谷 博人, 淵本 隆文, 水野 眞佐夫, 山内 秀樹, 和気 秀文

◆英文誌『JPFMS』編集委員会

委員長：今泉 和彦

委員：勝川 史憲, 勝村 俊仁, 後藤 勝正, 小宮 秀明, 小宮山伴与志, 坂本 静男,
下村 吉治, 鈴木 政登, 竹森 重, 永富 良一, 西牟田 守, 能勢 博,
藤井 宣晴, 藤本 繁夫, 水野 眞佐夫, 和気 秀文

1. JPFMS : Outline

- 1) Title: The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine
- 2) Abbreviation: J. Phys. Fitness Sports Med. (JPFMS)
- 3) Publisher: The Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine
- 4) Editor-in-Chief: Kazuhiko Imaizumi

Editors: Fuminori Katsukawa, Toshihito Katsumura, Katsumasa Goto, Hideaki Komiya,
Tomoyoshi Komiyama, Shizuo Sakamoto, Yoshiharu Shimomura, Masato Susuki,
Shigeru Takemori, Ryoichi Nagatomi, Mamoru Nishimuta, Hiroshi Nose,
Nobuharu Fujii, Shigeo Fujimoto, Masao Mizuno, Hidefumi Waki

- 5) Frequency of Publication:
 - year 2012-2013: 4 issues/year (Quarterly journal)
 - year 2014-2015: 5 issues/year
 - year 2016 ~ : 6 issues/year (Bimonthly journal)

- 6) Types of Manuscript:

The Journal publishes Regular Articles, Short Communications, Reviews, Short Reviews, Letters to the Editor and Proceedings

7) Acceptance of manuscript:

Submissions will be accepted on and after 11 October 2011

8) Editorial Office: Editorial Office of the Journal of Physical Fitness and Sports Medicine,

Tsuruoka Printing Co., 1-1 Doai Oyodogawa,

Tsuruoka, Yamagata 997-0854 Japan.

TEL : +81-235-22-3120 FAX : +81-235-22-3120

E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp

2. JPFSM : Instructions for Authors

October 11, 2011

*An Official Journal of the Japanese Society of
Physical Fitness and Sports Medicine*

The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (J. Phys. Fitness Sports Med. : JPFSM) Instructions for Authors

The **Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM)** is a scientific journal that publishes peer-reviewed **regular articles, short communications, reviews, short reviews, letters to the editor and proceedings**, based on the principles and theories of modern physical fitness and sports medicine. All aspects of interdisciplinary sciences such as physical fitness, sports medicine, exercise physiology, biomechanics, training sciences and health sciences are covered. The Journal will publish original and innovative submissions in English from both members and non-members of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine, on the understanding that the work is unpublished (except in abstract form) and is not being considered for publication elsewhere. The process of obtaining results must be ethically sound.

Only manuscripts that are written in clear and concise English will be accepted for review. For non-native English-speaking authors, please note that only manuscripts that have already been checked and edited by a native English-speaking person with sufficient scientific knowledge will be accepted. English editing and revision will be conducted on manuscripts whose English grammar, spelling, *etc.* is judged to be inadequate by the Editorial Board of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine.

1. TYPES OF MANUSCRIPT(S)

The Journal publishes six types of manuscript(s):

- 1) **Regular Articles:** The manuscript being submitted must consist of original research performed by the authors and the research must include new information that is of significance. These articles should be 10 or less printed journal pages.
- 2) **Short Communications:** The manuscripts being submitted must consist of original research performed by the authors and the research must include preliminary or more limited research results, but of general or special interest. Manuscripts containing interesting findings without detailed discussion, research results of narrow scope of a predominantly negative nature may also be suitable for publication as *Short Communications*. These articles should be 4 or less printed pages.
- 3) **Reviews:** The manuscripts are submitted by invitation from the Editorial Board, and encompass recent important scientific discoveries. Volunteered reviews are also welcome after previous contact with the Editorial Board. Reviews are more broad based and these articles should be 10 or less printed pages.
- 4) **Short Reviews:** The manuscripts are submitted by invitation from the Editorial Board, and will mainly describe

recent research results from the authors own laboratories. Volunteered short reviews are also welcome after previous contact with the Editorial Board and these articles should be 4 or less printed pages.

- 5) Letter to the Editor:** Constructive comments and data on papers published in this Journal will be considered. An opportunity will be provided for rebuttal to the authors in question. A letter, data and the authors reply are limited to a printed page each.
- 6) Proceedings:** The Proceedings on the Annual Meeting of this Society will be published in abstract form.

2. REVIEWS

- 1) With the exception of Invited Reviews and Short Reviews, manuscripts will be reviewed by two or more referees, whose opinions will form the basis of the final decision by the editor.
- 2) Please submit the revised manuscript no later than two months from the date of notation of manuscript revision by the editor. A manuscript that is not revised within two months may be rejected.

3. SUBMISSION GUIDLINES

Manuscripts should be sent as a PDF file to: Editorial Office of Journal of Physical Fitness and Sports Physiology, Tsuruoka Printing Co., 1-1 Doai Oyodogawa, Tsuruoka, Yamagata 997-0854 Japan.

TEL: +81-235-22-3120, FAX: +81-235-22-3120

E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

4. MANUSCRIPT PREPARATION

1) Cover Letter

The “**Required Submission Form**” should be attached with the manuscript as a cover letter. It should include information on the corresponding author (the corresponding author’s name, affiliation and address, telephone/fax numbers, and e-mail address), and for non-native English-speaking authors, the name of the native English speaker and company that checked the manuscript for correct English usage. For contributions from Japan, the corresponding author’s name and address should be written in Japanese as well as English.

Please insert supporting documents such as a copy of the approval letter from the ethics committee, certificate of editing by a qualified native speaker, etc.

Upon acceptance of an article by the Journal, the abstract will be published on the homepage of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine.

2) Manuscript

A manuscript, including all figures and tables, should be in one PDF file. Please use Times New Roman 12pt font double-spaced (80 strokes×26 lines) on A4 size paper, single sided and line-numbered throughout. One printed copy of the paper and illustrations should be submitted.

(1) Title page The title page (page 1) should start with the type of manuscript (Regular Article, Short Communication, Review, *etc.*), the title, name(s) of the author(s), affiliation(s), mailing address(es), number of tables and figures, a brief running title (70 characters or less). Please indicate the corresponding author’s e-mail address in the footnote. An asterisk(*) should be added to the right of the corresponding author’s name.

(2) Abstract and Keywords Page 2 should contain a Abstract no longer than 250 words, as well as 3 to 6 descriptive keywords, listed in decreasing order of importance. The keywords must be independent, as they will be used in a keyword combination in the index (within 80 characters). Page 3 should contain the Abstract and author(s) names in Japanese.

(3) Main text The text (“Introduction”, “Materials and Methods”, “Results” and “Discussion”. “Results” and “Discussion” may also be combined as “Results and Discussion”), acknowledgements, and references should be presented in this order. After a manuscript has been accepted, you will requested to formally submit your paper in electronic format.

5. MANUSCRIPT FORM

1) Affiliations When there are two or more authors and they belong to more than one affiliation, the connection between each author and his or her affiliation should be indicated by italicized superscript *a*, *b*, *c*... placed after each author's name and before each affiliation.

Examples for describing affiliations and mailing addresses:

^a *Laboratory of Physiological Sciences, Faculty of Human Sciences, Waseda University;* ^b *Laboratory of Biomechanics, Faculty of Sport Sciences, Waseda University, 2-579-15 Mikajima, Tokorozawa, Saitama 359-1192 Japan,* ^c *Waseda Institute for Advanced Study, Waseda University, 1-61-1 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050 Japan,* and ^d *Laboratory of Applied Biochemistry, Faculty of Science and Engineering, Waseda University, 3-4-1 Oukubo, Shinjuku-ku, Tokyo 169-8555 Japan.*

2) Abbreviations Abbreviations must be spelled out in full at their initial appearance, followed by the abbreviation in parentheses. Thereafter, only the abbreviation is necessary. Please limit to an absolute minimum the use of abbreviations in the title. However, the following need not be defined: AMP, ADP, ATP, cAMP, cDNA, CoA, DNA, RNA, mRNA, LD₅₀, FAD, FMN, GMP, P450, *etc.*

3) Units The following units should be used: length (m, cm, mm, μm, nm), mass (kg, g, mg, μg, ng, pg, mol, mmol, μmol, nmol), volume (l, ml, μl), time (s, min, h, d), temperature (°C, K), radiation (Bq, Ci, dpm, Gy, rad), and concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml, μg/ml, ng/ml, pg/ml, %, %(v/v), %(w/v), ppm, ppb).

4) Nomenclature The nomenclature used for chemical compounds shall be in accordance with the nomenclature rules of the IUPAC.

5) Tables Using the same word-processing software as used for text, create tables on an A4 file numbered sequentially with Arabic numbers (e.g., Table 1). Give the title at the top of each table, and footnotes, legend etc. under the table.

6) Figures Use figures directly created as camera-ready copy. Place each figure on an A4 file and number sequentially with Arabic numerals (e.g., Table 1). Titles and footnotes, descriptions etc. should be given on a separate page, under the heading "Figure Legend". If the manuscript is accepted, the author will be required to send electronic file for the figures.

Drawings should be done in black ink on white paper. Although drawings prepared with the aid of software packages as a high-quality print-out are acceptable, those prepared for oral presentation are seldom suitable for use in printed documents. All figures should be marked with the first author's name and number in pencil in the lower right corner of each sheet. Legend should be typed in text form.

The appropriate location of each table or figure embedded in the text should be indicated in red ink in the margin of the manuscript. Duplication of data in tables and figures should be avoided. The cost of color reproduction of figures will be charged to the author(s).

7) References References should be restricted to only those that are essential, and extensive review of the literature should be avoided. References cited in the text should be numbered (in italic) in order of appearance and listed at the end of the text.

Examples of references are as follows:

- 1) Steinberg SF. 1999. The molecular basis for distinct β-adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85:1101-1101.
- 2) Bajotto G, Shimomura Y. 2006. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247.
- 3) Sato S, Nomura S, Kawano F, Tanihata J, Tachiyashiki K, Imaizumi K. 2008. Effects of the β₂-agonist clenbuterol on β₁-, and β₂-adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400.
- 4) Shimomura Y, Murakami T, Nakai N, Nagosaka M. 2001. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. *In: Exercise,*

Nutrition, and Environmental Stress (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), 1: 89-116, Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA.

- 5) Nagashima M. 2011. Effects of endurance exercise on oxidative stress and antioxidant vitamin levels in trained cyclist. *Tairyoku Kagaku (Jpn J Phys Fitness Sports Med)* 60: 279-286 (in Japanese).

6. ETHICS

- 1) For manuscripts dealing with scientific investigations involving human subjects and/or human tissues, the experiments should be performed in accordance with the ethical standards formulated in the Helsinki Declaration of 1964 (<http://www.wma.net/en/30publicatiobs/10policies.b3/>) and/or the ethical standards for clinical research (<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/index.html#4>), while experiments dealing with the human genome should be conducted according to the Japanese government's "Ethical Standards for Human Genome and Genetic Analysis Research" (http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/hito_genom.html). Furthermore, only studies that have been performed after receiving approval from the appropriate ethics committee of an institution will be accepted for publication. Finally, please clearly state in the manuscript that the study was performed according to these guidelines and attach to the cover letter a scanned certificate from the ethics committee.
- 2) Manuscripts describing animal experiments should be conducted in accordance with the experimental animal guidelines of the institution as well as the appropriate government guidelines, such as those published by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. Only manuscripts of experiments conducted in accordance with the appropriate guidelines will be eligible for publication. Finally, please state clearly within the manuscript which guidelines were followed and that the study was indeed conducted in accordance with the guidelines.

7. PROOF READING

The author will be required to proof-read the galley of an accepted manuscript. Major changes at this time will no longer be permitted.

8. PAGE CHARGE

For page charges, see the table below (not including tax). The corresponding Author will be invoiced after publication.

	Page Charge (yen/page)	Color Photo (yen/page)
Regular Article	3,000	15,000
Short Communication	3,000	15,000
Review (submitted)	3,000	15,000
Short Review (submitted)	3,000	15,000
Letter to the Editor	0	0

Invited Reviews and Short Reviews have no page charges.

9. OTHER IMPORTANT POINTS

- 1) In general, after a paper has been reviewed, no authors may be added or deleted from the paper, and the order of the names of the authors cannot be changed.
- 2) The authors are given an opportunity to proofread the galley of an accepted manuscript. No additions and revisions are allowed other than the correction of typographical errors.
- 3) The copyrights of all manuscripts published in the *Journal of Physical Fitness and Sports Medicine* belong to the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine.

3. JPFMSM : Required Submission Form

Cover Letter

The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)

*An Official Journal of the Japanese Society of
Physical Fitness and Sports Medicine*

**Journal of Physical Fitness and Sports Medicine
Required Submission Form**

Author(s):

Title:

Running Title:

Number of Figures:

Number of Tables:

Corresponding Author:

Company or Institution:

Phone:

Fax:

E-mail address:

CATEGORY: Please check the corresponding category.

- 1 Nervous and sensory system
- 2 Motor control
- 3 Musculoskeletal system
- 4 Respiratory and circulatory system
- 5 Hematology and immunology
- 6 Humor and endocrinology
- 7 Metabolism
- 8 Nutrition and digestion
- 9 Morphology and body composition
- 10 Aging and gender difference
- 11 Environmental physiology
- 12 Exercise-training
- 13 Lifestyle and health
- 14 Biomechanics
- 15 Genes and gene regulation
- 16 Sports Medicine and diseases
- 17 Rehabilitation and exercise therapy
- 18 Drug and doping
- 19 Sports psychology
- 20 Miscellaneous

TYPE : Please check the corresponding category.

- 1 Regular Articles
- 2 Short Communications
- 3 Reviews
- 4 Short Reviews
- 5 Letter to the Editor

Declaration by corresponding author:

As the corresponding author, I declare that all listed authors have seen and approved of the manuscript to submit to the Journal of Physical Fitness and Sports Medicine including its copyright transfer at acceptance for publication. I also declare that the contents of the manuscript have not been previously published and are not currently submitted elsewhere. Furthermore, I accept responsibility for the scientific integrity of the work described in this manuscript.

Date:

Signature of corresponding author:

体力科学投稿規定

改訂：平成23年9月15日

適用：平成23年10月11日

I. 投稿資格

本誌への投稿は本学会の会員・非会員を問わない。また、編集委員会が必要と認めた場合、会員・非会員を問わず投稿を依頼することができる。

II. 掲載採否・順序

原稿の採否は、原則として2名の査読審査により編集委員会にて決定する。査読者からの意見やコメント等は2ヶ月以内に修正した論文を提出する。期限内に提出されなかった論文は不採用とする。掲載は原則として採択順とする。

III. 原稿の種類

総説、原著、ノート、資料、教育講座、抄録、その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）とし、原則として和文のみとする。

- A. オンライン投稿：投稿総説, 原著, ノート, 資料とする。
- B. 依頼総説, 教育講座, 地方会抄録, その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）は、J-STAGE オンライン投稿を使用せず、以下のE-mailアドレスへ添付ファイルで投稿する。
hj-tairyoku@turuin.co.jp

IV. 原稿一般規定

ヒトを対象とした研究の原著論文では、当該研究施設の倫理審査委員会の承認を受けた研究であることを「対象と方法」に明記する。掲載された論文の著作権は日本体力医学学会に帰属される。

- A. 使用ソフトウェア：下記の汎用ファイルで作成する。
本文ファイル：Microsoft Office Word
図表ファイル：Microsoft Office Word, Excel, PowerPoint, PDF, JPEG
- B. 用紙設定：和文英文ともに、用紙設定をA4とし、上下左右3cmの余白を設け、一段組みで105ポイント以上の文字でダブルスペースにて入力する。
- C. 用語：日本医学会医学用語管理委員会編「日本医学会用語辞典」英和改訂第3版（2007年出版）、和英（1994年出版）を参照する。
- D. 文体：原稿は、平かな、新かなづかい。当用漢字、外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語、外来語、動植物名などは片かな、数字はアラビア数字を使用する。
- E. 単位及び単位記号：原則として国際単位系（SI）に従うが、当該領域で慣用されているものはこの限りではない。
- F. 図表：説明は英文で適切な題目をつけ、それに続いて図表の内容が理解できる説明を別紙に記載する。
- G. 掲載料及び別刷料：筆頭著者が本学会会員の場合、1編につき刷り上り6頁までは本学会が負担する。
6頁を超過した場合、1頁あたり3,000円の掲載料を著者が負担する。筆頭著者が非会員の場合、全頁について1頁あたり3,000円の掲載料を著者が負担する。
別刷料は著者負担とする。尚、論文掲載後に正誤表を新たに追加する際、その料金は著者負担とし、1頁につき6,000円の掲載料を負担する。
- H. 校正：編集委員会の決定した期日内で校正はすべて著者の責任により行う。

I. 投稿についての問い合わせ

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局宛

〔電話FAX 共通 0235-22-3120〕 E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp

V. 原稿種類別規定

A. 原著, 投稿総説, ノート, 資料

1. 論文は独創性に富み, 未投稿の研究論文とする. 1頁目には, 表題, 著者名, 共著者名, 所属機関名, 所在地の各(和・英)と, 別刷希望部数を明記する.
2. 原稿には英文抄録(Abstract: 研究目的, 方法, 結果, 結論などを含めて250words以内で記載)およびその和訳文を付ける. またランニングタイトルは, 和文で20字以内を明記し, key words(5語以内)を付ける. key wordsは Medical Subject Headings(国立医学図書館: 最新号)を参考にする.
3. 本文中で引用文献に言及した場合, 文章の右肩か著者名の右肩に, 末尾の文献表に照応する番号を付ける. 3人以上の共著の場合は“ら”“et al.”を用いる.

例1: 長島¹⁾によれば……………例2: 手島と角田²⁾によれば……………例3: 馬ら³⁾によれば……………

4. 文献表の作り方

- 1) 末尾文献表の順序は本文中の引用順に整理して, 本文中の番号と照合する. 文献表の著者名は“ら”, “et al.”と省略せず, 全著者名を列記する. 人名の記載順は姓を先にして名を後にする. 本文中に引用されていない文献は, 文献表に記載しない.

2) 雑誌から直接引用する場合

番号, 著者名: 論文表題, 掲載雑誌, 巻: 頁(始頁-終頁), 西暦年数の順に記す.

例1: 長島未央子: 長時間自転車運動が鍛練者の酸化ストレス度及び血中ビタミン濃度に及ぼす影響, 体力科学, 60: 279-286, 2011.

例2: 手島貴範, 角田直也: 身長相対発育からみた男子サッカー選手の大腿部筋厚発育とボールキック能力の発達, 体力科学, 60: 195-205, 2011.

例3: 馬 佳濛, 柴田 愛, 村岡 功: インターネットを利用する中国成人における推奨身体活動充足に関連する社会人口統計学的要因, 体力科学, 60: 185-193, 2011.

3) 単行本から引用する場合

番号, 著者または編者名, 章名, 書名(章名がある場合は書名をイタリック体にする), 版数(括弧に入れる), 編者名(章著者がある場合), 発行所, 発行所の所在地, 引用頁, 西暦年数の順に記す.

例: 彼末一之, 中島敏博. 4. 神経機構 I - 温度求心路と体温調節「中枢」-, 脳と体温 - 暑熱・寒冷環境との戦い -, 共立出版, 東京, 72-97, 2000.

4) 訳本から引用する場合

著者名, (訳者名), タイトル, 出版社, 地名, ページ, 出版年の順に記す.

例: アメリカスポーツ医学協会編(日本体力医学会体力科学編集委員会監訳), 運動処方指針-運動負荷試験と運動プログラム-原著第8版, 南江堂, 東京, 57-108, 2011.

5) 欧文の雑誌と単行本から引用する場合

例1: Steinberg SF. The molecular basis for distinct β -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1101, 1999.

- 例 2 : Bajotto G, Shimomura Y. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247, 2006.
- 例 3 : Sato S, Nomura S, Kawano F, Tanihata J, Tachiyashiki K, Imaizumi K. Effects of the β_2 -agonist clenbuterol on β_1 - and β_2 -adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400, 2008.
- 例 4 : Shimomura Y, Murakami T, Nakai N, Nagosaka M. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. *In: Exercise, Nutrition, and Environmental Stress Vol.1*(Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA, 89-116, 2001.

B. ノート

投稿規定にしたがって記す。仕上りは4頁以内，図表は2点までとする。

C. 依頼総説および教育講座

1. 依頼総説および教育講座は，体力科学編集委員会の依頼による。
2. 原稿について
 - 1) 依頼原稿は刷り上がり10頁以内を原則とする。
 - 2) いずれの原稿も表題，著者名，所属などは体力科学投稿規定V-Aに準じて英文名を附す。教育講座では必ずしも英文抄録を必要としないが，依頼総説では体力科学投稿規定V-Aに準ずる。
3. 依頼総説および教育講座執筆者には別刷30部を贈呈する。

D. 学会大会の抄録

1. 演題申し込みと同様，学会大会のホームページ上で登録する。
 2. 形式，提出日等は大会要項に従う。原稿は一編900字以内とする。
- ※地方会，大会抄録とも提出期限に遅れた場合，本誌に掲載されない。

E. 地方会の抄録

1. 原稿は，一編900字以内で表題，著者名，所属，本文を和文で記す。

F. その他（資料，Letter to the Editor，議事録，学会記事，会報など）

※Letter to the Editorの項では，本誌に掲載された原著論文，総説，その他の掲載内容についての質問，疑問，コメント等を編集委員会に寄せ，それに対する回答を執筆者に求め，その内容を掲載する。質問者も回答者もすべて実名とする。

編集委員長	鈴木政登		
副編集委員長	今泉和彦		
編集委員	猪飼哲夫	大野誠	勝川史憲
	勝村俊仁	川原貴	後藤勝正
	小宮秀明	小宮山伴与志	坂本静男
	下村吉治	竹森重	田中宏暁
	永富良一	西平賀昭	西牟田守
	能勢博	藤井宣晴	藤本繁夫
	藤谷博人	淵本隆文	水野眞佐夫
	山内秀樹	和気秀文	中島幸則

(庶務担当)

平成23年度日本体力医学会プロジェクト研究について

日本体力医学会プロジェクト研究委員会
委員長 大野 誠

- 今年度は 1) 特定保健指導（メタボ対策）に関する基礎的研究
2) 特定高齢者の虚弱化予防（介護予防）に関する研究
3) スポーツ科学（体力科学・体力医学）に関する研究

の研究テーマに関わる研究課題について公募を致しましたが、残念ながら規程に沿った応募がなく、本委員会にて「該当なし」と決定し、理事会にて承認されましたので報告致します。

なお、引き続き同じ研究テーマにて、平成24年度プロジェクト研究の公募を行うことになりましたので、ぜひとも奮って応募いただけるようお願い申し上げます。

平成24年度日本体力医学会プロジェクト研究公募について

日本体力医学会プロジェクト研究（以下、プロジェクト研究）は、平成9（1997）年度に発足しました。日本学術会議体力科学研究連絡委員会から「日本人のための健康体力指標の標準化、及び健康増進・疾病予防のための身体活動に関する推奨・指針作成への提言」が出されたことを受けて、平成16年度からこの提言に関わるプロジェクト研究を公募して参りましたが、平成24年度の公募研究テーマが下記のごとくに決定しましたので、奮って応募いただくようお願い致します。

プロジェクト研究の全体像

- プロジェクト研究は、日本人の健康維持・増進に関連した体力及び身体活動・運動を主題とした研究であり、その成果として、社会に対して、勧告、指針などの提言がまとめられるものでなければならない。
- 平成24年度は下記のいずれかの研究テーマに関わる研究課題に限定する。
 - 特定保健指導（メタボ対策）に関する基礎的研究
 - こどもの生活習慣と健康づくりに関する研究
 - スポーツ科学（体力科学・体力医学）に関する研究
- 多施設が共同研究を行うことにより初めて成果が出るような研究プロジェクトであること。その際に各研究者の役割を明確にすることが必要である。
- プロジェクト研究の選考は学術委員会の下部組織であるプロジェクト研究委員会が行う。
- プロジェクト研究の申請は、研究代表者（評議員）と数名の発起人が、研究計画書を作成してプロジェクト研究委員会に提出する。
- プロジェクト研究委員会では提出された研究計画書を審査して、採択する研究を決定する。なお、本年度の新規採用可能件数は1～2件である。
- 採択された研究の代表者は研究計画を体力科学に掲載して、研究協力者を募集することも可能である。その場合には、研究協力者の採択は研究者と発起人に一任する。また、プロジェクト研究委員会が必要と認める場合には、他の研究者を指名して加えることもできる。
- プロジェクト研究委員会は研究計画に基づき研究

費を配分する。研究費は主に調査や資料の収集などに当てるものとする。年間およそ100万円程度を限度として配分する。プロジェクト研究の研究成果は3年以内でまとめ、(1)プロジェクト研究委員会の審査を経て、理事会の承認を得て、(2)「体力科学」および日本体力医学会大会において公表する。（注：学会の公式見解とするかどうかは、理事会で審議する）

プロジェクト研究に応募される方は、研究代表者（評議員に限る）と数名の発起人が、以下の項目に沿って研究計画書をA4版にワードプロセッサで書き、平成24年4月30日までに下記の提出先にお送りください（電子メールによる提出も可）。研究計画の採否は追って、研究代表者に通知します。

研究計画書

- 研究代表者名（署名捺印してください）、所属部署・所属大学など、住所、最終学歴（卒業大学または修了大学）と年月日、学位の有無、連絡先の住所、電話、ファックス、電子メールアドレス
- 研究発起人名、所属部署・大学、最終学歴（卒業大学または修了大学）と年月日
- 研究課題
- 研究目的（200字以内）
- 研究期間（3年以内）
- 研究計画（200字以内）
- 研究方法（400字以内）
- 期待される研究成果（200字以内で具体的に、例、ガイドライン）
- 研究費の使途（会合費、通信費、印刷代などの費目）に分けて概算を出してください
- この研究に関するこれまでの成果（原著、著書などの研究業績）を番号をふって書いてください

提出先

大野 誠
日本体力医学会プロジェクト研究委員会委員長
〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学大学院 健康科学・スポーツ医科学系
TEL：03-5706-0814 FAX：03-5706-0814
E-mail：m_ohno@nittai.ac.jp

第55回日本手外科学会学術集会 開催および演題募集のご案内

会 期：平成24年4月19日(木)・20日(金)
 会 場：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)
 会 長：別府 諸兄
 (聖マリアンナ医科大学 整形外科学 講座代表 教授)
 テーマ：確立した専門医制度を目指して
 同時開催：4月20日(金)・21日(土)
 The 8th International Hand and Wrist Biomechanics
 Symposium
 日本ハンドセラピスト学会(はまぎんホール ヴィアマール)
 演題募集：以下の主題候補，一般演題をホームページに
 て募集

※HPはこちら：<http://www.congre.co.jp/jssh2012//>

■シンポジウム (一部指定)

1. 確立した専門医制度を目指して
2. 手外科領域の関節鏡の現状と将来展望
3. 橈骨遠位端骨折ロックングプレートの功罪
4. 前腕骨間膜損傷の病態
5. テニス肘の病態と治療

■ラウンドディスカッション：橈骨遠位端骨折－エキスパートはどう考えるか－

■公開シンポジウム：女性手外科医－夢を語る－ ■パネル (一部指定)

1. 手根管症候群 (ECTR VS OCTR)
 2. 遠位橈尺関節不安定症の病態と治療
 3. 手外科領域の超音波診断の現状
 4. 手外科領域マイクロサージャリーの応用
 5. 私が若手に教えたい手外科の診断(診察法)と治療
 6. 舟状骨偽関節の治療の問題点
 7. 私の勧める手術手技(ビデオ)
 8. 手外科医とハンドセラピストとの連携の実際
- 演題募集期間：9月15日(木)～11月1日(火)正午

<お問合せ先>

第55回日本手外科学会学術集会運営事務局
 株式会社コングレ内
 〒102-8481 東京都千代田区麴町5-1 弘済会館ビル
 TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552
 E-mail: jssh2012@congre.co.jp

第34回 公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集

主 催：公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科
 学振興財団
 THE DESCENTE AND ISHIMOTO MEMORIAL
 FOUNDATION FOR THE PROMOTION OF
 SPORTS SCIENCE

応募資格：

- ①体育学，健康科学，人間工学，被服科学，運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術，およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学，およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ。
- ②高校生から幼児までの教育機関に奉職しており，①に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ。
 この場合，運動生理学的研究でなくとも，あくまで教育現場に於ける身近なテーマで，すぐにも役立つ研究テーマを求めている。
 但し，研究報告等に不慣れな人は，報告書作成に習熟した人を共同研究者に加えて申請のこと。

学術研究テーマ：自由課題学術研究

本財団の主旨に添ったものであり，申請者がこれま

で行って来た研究を助成することによって，調査・研究の発展・充実が期待されるものであること。

応募方法：本年度の公募締切日は平成23年11月10日です。
 応募者は，所定の申請用紙に研究テーマ，目的，内容および期待される成果等を簡潔に書き，平成23年11月10日(当日消印有効)までに下記宛提出すること。

(申請書は所定用紙または当財団ホームページより，**B4サイズにてダウンロードしたものとする。**但し所定用紙をコピーし使用する場合，第34回申請書をコピーのこと，自作による作表および前回までの用紙は使用しないこと)

応募書類 送付先・資料の請求および問い合わせ：

〒541-0046 大阪市中央区平野町4-2-16
 (株)デサント 企画開発部内
 公益財団法人 石本記念デサントスポーツ
 科学振興財団 編集局

TEL：06-6774-0252 FAX：06-6774-0399

ホームページアドレス：

<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団平成24年度研究助成の公募について

1. 助成の対象
 - <一般公募研究>
 - 単年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
 - ・医学分野：塩類の生理作用，健康に及ぼす影響に関する研究
 - 食品科学分野：食品の加工・調理・保存及び食品栄養における塩類の役割に関する研究
 - <プロジェクト研究>
 - 3年間（平成24年4月1日～平成27年3月31日）
 - ・医学分野：センサーとしてのCa²⁺透過性チャネルの制御機構とその生理学的意義
2. 募集件数および研究助成金額
 - <一般公募研究>
 - ・医学分野：A区分 2件，B区分 9件
 - 食品科学分野：A区分 1～2件，B区分 5件
 - ・研究助成金額：1件当たりA区分100～200万円，B区分100万円以下
 - <プロジェクト研究>
 - ・医学分野：4件，初年度研究助成金額1件あたり100～150万円以下
3. 応募資格：日本国内の大学，公的研究機関等で研究に携わる人(学生・研究生等を除きます)．若手研究者の積極的な応募を期待．
4. 応募方法：財団のウェブサイトから平成24年度研究助成募集要領（Microsoft Word）をダウンロードし，募集要領に基づいて所定の書式に記入のうえ，書面により提出．
5. 応募期間：平成23年11月1日～平成23年12月20日まで（締切日財団必着）
6. 提出先：公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
〒106-0032 東京都港区六本木 7-15-14
塩業ビル3階
電話：03-3497-5711
URL：http://www.saltscience.or.jp
7. 選考結果の通知：財団の研究運営審議会による審査・選考を経て，3月に応募者へ書面で通知．

第153回日本体力医学会関東地方会のご案内

開催日時：平成23年12月17日(土)
午後1時30分～5時30分
午後6時～懇親会

開催場所：日本医科大学老人病研究所・大講堂
住所：〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396
日本医科大学老人病研究所

開催内容

- ・一般演題発表
- ・シンポジウム テーマ 運動と脳研究の進め（仮称）
- ・特別講演
日本医科大学大学院加齢科学系細胞生物学・
教授 太田成男
講演題名 ミトコンドリアが制御する健康・老化

担当幹事：日本医科大学スポーツ科学教室
准教授 三上俊夫

連絡先
〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町2-297-2
日本医科大学新丸子校舎スポーツ科学教室
Tel&Fax 044-733-3719（准教授室），
044-733-3641（研究室）
メールアドレス mikami@nms.ac.jp

編 集 後 記

体力科学60巻5号をお届けします。本号には原著論文7編の力作が掲載されております。

震災から半年が経過し、落ち着いた生活環境条件に戻りつつありますが、常に被災地の皆様を思い、連携、連帯に努めたいと思っております。

日本体力医学会では、本年大きな動きがあり、行動が決定されました。それは、待望の英文誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine」が今泉和彦英文誌編集委員長のもと2012年に刊行される運びになったことです。また、当面の発行スケジュールもできており

ます。関係各位のご尽力には敬意を表する次第です。これから、投稿から掲載までの時間の短縮、インパクトファクターの獲得等の問題もありますが、日本体力医学会の会員の皆様が、奮って投稿していただくことが、本英文誌を育てていく上で、皆様の英文誌に対する最大の貢献になることは異論のないことでしょう。本和文誌とともに英文誌に対しても、今後の、皆様のご貢献を期待いたします。

西牟田 守

Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol. 60, No. 5

体 力 科 学 第 60 巻 第 5 号

平成 23 年 9 月 25 日 印 刷

平成 23 年 10 月 1 日 発 行

編 集 兼 発 行 者	鈴 木 政 登
発 行 所	〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階 一般社団法人 学会支援機構 日本体力医学会
編 集 事 務 局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局 TEL・FAX(共通) 0235-22-3120 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
印 刷 所	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社
